

だいがくせい しゅうしょくしけん  
大学生の就職試験

だいがくせい よねんせい いま あそ もの すこ  
大学生は4年生になると、今まで遊んでばかりいた者も、少しはまじめに  
しょうらい かんが かつぎょう しゅうしょく め まえ  
将来のことを考えるようになる。卒業・就職ということが、目の前に  
ぶらさがっているからだ。

いぜん よねんせい ゆうりよく きぎょう ゆうしゅう がくせい じぶん かいしゃ  
以前は、4年生になるとすぐ、有力な企業が優秀な学生を自分の会社に  
しゅうしょく けいやく したが、そうすると、その学生は4年生のほとんどの  
じき べんきょう す おお た がくせい  
時期を、勉強もしないでただだと過ごすことが多いので、他の学生や  
だいがく あくえいきょう およ さいきん じゅうがついついち いぜん  
大学にも悪影響を及ぼすということから、最近では、10月1日以前に  
そういうことをしない約束が企業間にできあがった。

ひょうめんじょう じっさい まえ  
しかし、表面上はそういうことになっているが、実際はかなり前から、  
しゅだん つか ゆうしゅう がくせい じしゃ ひ ば はや  
いろいろな手段を使って、優秀な学生を自社に引っ張り、いち早く  
ないてい かいしゃ おお じゅうがつ じゅういちがつ  
内定させている会社も多い。だから、10月から11月ごろにかけて、  
いちおう にゅうしゃしけん けいしきてき  
一応の入社試験をやることはやるが、それは形式的なものになっている。

じぶん はい かいしゃ ちじん だいがく  
こういうわけだから、自分が入りたい会社に知人がいないとか、大学の  
せんぱい がくせい かいしゃ はい むずか  
先輩がいけないような学生が、その会社に入るのはなかなか難しい。

さら よねんせい だいがく で じょしがくせい しゅうしょく かんたん いっぱんてき  
更に、4年制の大学を出た女子学生の就職も簡単ではない。一般的に  
い じょし にゅうしゃごに さんねん しごと  
言って、女子は入社後2、3年、やっと仕事ができるようになると、

けっこん たいしよく おお にほん けっこんご  
結婚のため退職してしまうケースが多いからだ。日本では、結婚後も

その仕事を続けるという女性は、まだまだ多くない。普通は会社の仕事を

結婚するまでの腰かけのように考えている。これでは企業の経営者としても、

女子学生を採用することを敬遠せざるをえないであろう。

このように、大学生の就職に関しては、いろいろ問題点があるが、

もちろんどの大学生にも平等に試験の機会を与え、学閥とか

縁戚関係によらず、公平にその能力を見て採用する会社も多くなって

きたことは事実である。それは、経済の国際化に対応するための必然的な

要請でもある。

だいがくせいの しゅうしょくしけん

だいがくせいはよねんせいになると、いままであそんでばかりいたものも、  
すこしはまじめにしょうらいのことをかんがえるようになる。そつぎょう・  
しゅうしょくということが、めのまえにぶらさがっているからだ。

いぜんは、よねんせいになるとすぐ、ゆうりよくなきぎょうが  
ゆうしゅうながくせいをじぶんのかいしゃにしゅうしょくさせる けいやくを  
したが、そうすると、そのがくせいはよねんせいのほとんどのじきを、  
べんきょうもしないでたらだとすごすことがおおいので、  
たのがくせいやだいがくにも あくえいきょうをおよぼすということから、  
さいきんでは、じゅうがつついたちいぜんに そういうことをしない  
やくそくがきぎょうかんにできあがった。

しかし、ひょうめんじょうはそういうことになっているが、じっさいは  
かなりまえから、いろいろなしゅだんをつかって、ゆうしゅうながくせいを  
じしゃにひっぱり、いちはやくないていさせているかいしゃもおおい。  
だから、じゅうがつからじゅういちがつごろにかけて、  
いちおうのにゆうしゃしけんをやることはやるが、それはけいしきてきな

ものになっている。

こういうわけだから、じぶんがはいりたいかいしゃにちじんがないとか、

だいがくのせんぱいがないというようながくせいが、そのかいしゃに

はいるのは、なかなかむずかしい。

さらに、よねんせいのだいがくをでたじょしがくせいのしゅうしょくも

かんたんではない。いっぱんてきにいて、じよしはにゆうしゃご、

に、さんねん、やっとしごとができるようになると、けっこんのため

たいしょくしてしまうケースが おおいからだ。にほんでは、けっこんごも

そのしごとをつづけるというじよせいは、まだまだおおくない。ふつうは

かいしゃのしごとを けっこんするまでのこしかけのようにかんがえている。

これでは きぎょうのけいえいしゃとしても、じよしがくせいを

さいようすることをけいえんせざるをえないであろう。

このように、だいがくせいのしゅうしょくにかんしては、いろいろ

もんだいてんがあるが、もちろんどのだいがくせいにも びょうどうに

しけんのきかいをあたえ、がくばつとか えんせきかんけいによらず、

こうへいにそののうりよくをみてさいようするかいしゃも

おおくなってきたことは じじつである。それは、けいざいのこくさいかに

たいおうするための ひつぜんてきなようせいでもある。

## 大學生的就業考試

大學生到了四年級的時候，即使一直只顧玩耍的學生，漸漸也會開始考慮到將來的事。畢業、就業等等的事就在眼前。

在以前，成了四年生以後，有實力的企業就會馬上與優秀的學生訂下於該公司旗下任職的契約。可是如此一來，該學生於四年級的大部分時間，就不會專注於學業而虛度日子，甚至對其他學生及大學本身造成不良影響。於是，最近企業之間訂下了一個協定，說明於 10 月 1 日之前不可以如上述般做。

可是，表面上雖是如此，實際上於老早以前，很多企業已經使出各種手段，拉攏並早一步內定優秀的學生進入其企業工作。所以，於 10 月至 11 月間，它們暫且會舉行就業考試，但那只不過是形式上的事而已。

正因如此，如果自己想進的公司裡沒有認識的人，又或者沒有大學前輩在那裡工作的話，要進入該公司可是頗困難的。

再者，進四年制女子大學畢業的學生要就業也不簡單。一般而言，有很多例子是女性於進入公司工作後 2、3 年，終於開始覺得可以應付工作的時候，卻因為結婚而需要辭職。於日本，於婚後仍繼續工作的女性依然不多。她們一般都會視公司的工作為婚前的暫時棲身之處。因此作為企業的經營者，無可避免地會迴避聘用女性學生吧。

就是如此，關於大學生的就業，雖然有仍各種各樣的問題，但當然會給予大學生公平的考試機會，不依靠校友組織或親屬關係，而唯才是用的公司也愈來愈多。那正是相應經濟國際化的必要條件。